



公民館情報

公民館は地区住民の生活文化の振興、福祉の増進をはかることを目的としたコミュニティ施設です。

昨今は携帯電話やパソコンの普及により、会話によるコミュニケーションが不足しています。岩村地区は農家が多く、なかなか自分の時間が作れないと思います。月一度・週一度せめて一時間でも公民館活動に参加し、軽い運動、カルチャー等で心身のリフレッシュをしてみたいかがでしょうか。何かのサークルに参加することで日頃使っていない筋肉を動かし、他人と会話することでより多くの情報が得られ明日への活力が湧いてくるのではないかと思います。特に団塊の世代（六十歳前後）の方は知識欲旺盛と言われています。少子・高齢化・過疎化を論じていても仕方ありません。

第11号

待しております。

岩村ふれあいセンターの利用状況は多いほうだと思いますがもっと沢山活用している地区もあります。岩村の皆さん、時間を作って公民館活動に参加してみませんか。館長・島崎宏明

岩村ふれあい祭り



九月六日（土）好天に恵まれ

ん。若さをいつまでも持ち続けて地域のパワーを引き出す役割を期

第五回岩村ふれあい祭りが開催されました。オープニング演奏は山田太鼓で、来賓の橋詰市長、藤村副市長の見守るなか、「どん」 「どん」 「どん」 と勇壮な撥さばきは迫力満点で来場者から感動のため息が漏れておりました。続いて3B体操によるダンス「よさこいソーラン」が子ども十人を交え披露されました。特に子ども達は、夏休み返上の練習成果をいかんなく発揮し、その可愛い踊りは、会場からの拍手喝采を浴び、それぞれにご褒美のメダルが贈られました。

また、この祭りには、欠かせない豆電球さんによるスペシャルコンサートが一部、二部に分かれて行われ好評を博しました。来年は「ふるさと岩村」の歌も作ってくださいと聞き及んでおりますのでご期待下さい。旧岩村地区等への宣伝効果のせいか、夕闇も迫ってまいりますと焼き鳥、焼きそば、ビールをはじめ十の出店担当者は続々と詰め掛ける来場者の対応に大わらわ。私は、今年初めて出店のフランクフルト担当となりました。



だが、この種の経験は全くなく俄か勉強で臨みました。売れ残りを心配しておりましたが、農協さんの心強いお手伝いを得て、割り当ての二百本を早めに関と共に関と安心してました。時間経過とともにビール消費のピッチもあがり老若男女によるカラオケ大会も最高潮。子ども達による花火大会、うなぎの掴み取りでは大きな歓声が秋の夜空に響き渡りました。最後は、大勢の方が参加した「お楽しみ抽選会」でふれあい祭りのファイナルを飾りました。今年のは天の恵み（晴れ）も得て、岡崎